

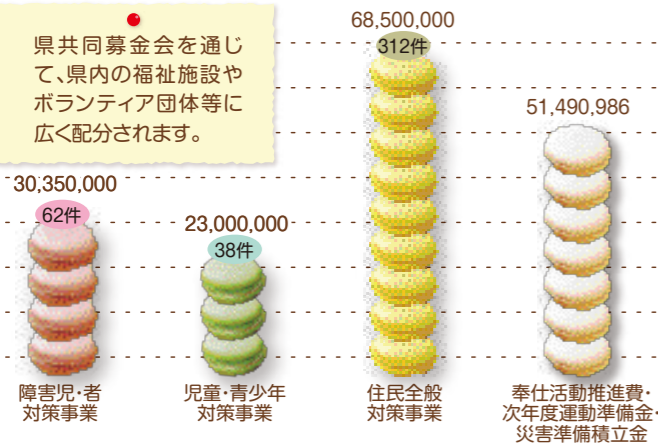
平成25年度共同募金配分計画

総額 **366,767,605円**

平成25年度共同募金(今年度10月1日より運動開始)は、県域配分・市町村域配分としてそれぞれ平成26年度事業に配分し、歳末たすけあい募金(今年度12月1日より運動開始、NHK歳末たすけあい募金も同様)は、平成25年度中に、以下のように配分される予定です。皆様のご理解とご参加をお願い致します。

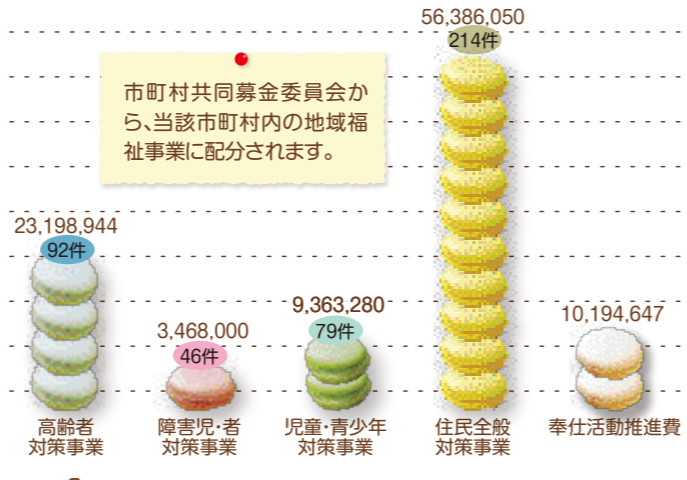
赤い羽根県域配分 総額 173,340,986円

県共同募金会を通じて、県内の福祉施設やボランティア団体等に広く配分されます。



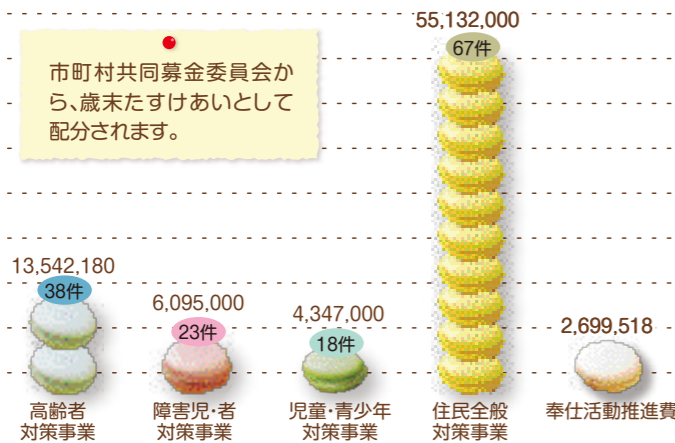
赤い羽根市町村域配分 総額 102,610,921円

市町村共同募金委員会から、当該市町村内の地域福祉事業に配分されます。



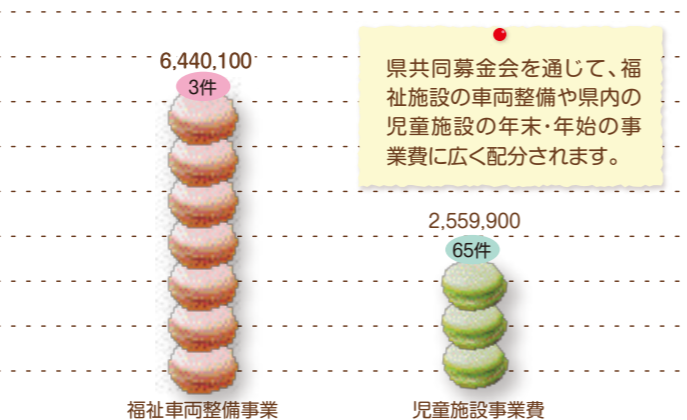
地域歳末たすけあい配分 総額 81,815,698円

市町村共同募金委員会から、歳末たすけあいとして配分されます。



NHK歳末たすけあい配分 総額 9,000,000円

県共同募金会を通じて、福祉施設の車両整備や県内の児童施設の年末・年始の事業費に広く配分されます。



ありがとうメッセージ

石巻市 仮設住宅自治会



子どもたちは「パン食い競争などがとても楽しかった」また、年配の方々は「昔懐かしい運動会に心を躍らせ参加できとても楽しかった」との声。このイベントを通じて、心が和らぎました。元気をいただきありがとうございます。住民一同とても感謝しております。

皆様からのご意見・ご質問・ご提案をお待ちしております。

本会では、より募金者に寄り添うために、ご意見・ご質問・ご提案を随時、募集しております。ささいなことでも結構です。一緒にこれからの共同募金の未来を考えていきましょう。

赤い羽根「住民支え合い活動助成」について

- 対象** 県内の被災地で活動し、県民5名以上で構成する県内の非営利団体。(住民団体やボランティアグループ、NPO法人などを含む)
- 対象活動** 引越し手伝いなどの生活支援や被災者向けのサロン、健康相談、仮設住宅での季節行事や住民交流事業など。
- 助成総額** 5,000万円
- 助成金額** 1団体1回につき上限10万円(年2回まで申請可能)
- 受付時期** 第10次応募(受付10月1日(火)~10月31日(木)必着)
第11次応募(受付12月2日(月)~12月27日(金)必着)
*受付期間中であっても助成総額が5,000万円に達した時点で受付を終了させていただきます。

申請について

宮城県共同募金会ホームページより「応募書」をダウンロードし、必要書類を添付し、活動先または所在地の市町村共同募金委員会へ申請する。

まだまだ被災地では支援が必要なんだね。



赤い羽根 だより

リニューアル
第1号
平成25年
秋季号



社会福祉法人 宮城県共同募金会

(発行)仙台市若林区新寺一丁目4番28号
TEL 022-292-5001
FAX 022-292-5002
URL: http://www.akaihane-miyagi.or.jp



今年度も10月1日から「赤い羽根共同募金運動」がスタートします。共同募金。言葉は知ってるけどその中身や仕組みがよくわからないという人も多いのでは? 支援の輪を広げるために、赤羽ファミリーがわかりやすくナビゲートします!

いっしょに共同募金のこと勉強しましょう!

おじいちゃん: 赤羽太郎

私たちがナビゲートします!

パパ: 赤羽昌之

ママ: 赤羽千春

ぼく: 赤羽遥斗

わたし: 赤羽あかり

おばあちゃん: 赤羽ふね ナビゲーター/赤羽ファミリー

平成25年度 共同募金運動目標額

総額 **366,767,605円**
(前年比92.4%)

内訳 ※配分計画は裏表紙参照

赤い羽根募金	275,951,907円
県域	173,340,986円
市町村域	102,610,921円
歳末たすけあい募金	81,815,698円
NHK歳末	9,000,000円

ご家族で お読みください~

小さなきもちが大きなよろこびに。 私のきもちとどけます。赤い羽根にのせて。



ひとり、ひとりのやさしさが、あなたの住む町を、もっと、やさしくしてくれます。

赤い羽根共同募金運動は毎年10月1日～12月31日の間に展開されています。

赤い羽根共同募金は、1947(昭和22)年に「国民たすけあい運動」として行われたのがはじまりです。以後毎年10月からスタートする共同募金運動は、「地域福祉の推進」を目的として、今も続く歴史の長い募金活動です。現代は少子高齢化が進む中、高齢者、障がい者、子どもたちへの福祉活動のほか、様々な福祉課題に取り組むボランティア活動などに役立てられています。一人ひとりの町を思うやさしさが、地域で暮らす人々のつながりを強くし、輪となり広がっています。



全国で200万人のひとがやさしさを集める活動をしています。

- ・「戸別募金」: ボランティアの皆さんが、地域の各家庭を訪問して募金を呼びかける。
- ・「街頭募金」: 街角や人の集まる場所で募金を呼びかける。
- ・「法人募金」: 企業を訪問して寄付を依頼する。
- ・「職域募金」: 企業の従業員の方に職場での募金を依頼する。
- ・「学校募金」: 学校において児童・生徒に募金を呼びかける。
- ・「イベント募金」: イベントを企画して募金を呼びかける。



むすび丸バッジで被災地の子どもたちに遊具を贈ろう!!

被災地では、子どもたちが楽しく遊んでいた公園が被災したり、仮設住宅が建設されたりして遊ぶ場所が減少しました。「もっと自由に遊びたい」「楽しい遊具がない」と言う子どもたちの声。「子どもたちが安心して遊べる場所がほしい」と言う地域の声に応えるため、むすび丸バッジ(500円)で募金し被災地での遊び場(遊具)整備を支援しましょう。



地域で集めた募金は集めた地域で使われます。

都道府県内で集められた募金は、その都道府県内の福祉活動に役立てられています。たとえば、一人暮らしの高齢者を地域で見守る活動や、障がい者が働く事業所への支援、福祉施設への車両整備のほか、福祉活動の担い手となるボランティア育成や子どもたちへの福祉教育など、みなさんの住んでいる市町村内での福祉活動をはじめ、より広域的な課題を解決するための都道府県域の活動に役立てられています。



暮らしの身近なところで使われているんじゃ。

宮城県共同募金会の取り組み

- 広報の充実(広報誌・ホームページのリニューアル)
- 組織体制の強化(リフォームプロジェクト・諸規程の全面見直し)
- 新しい募金手法の開発(むすび丸ピンバッジ)
- 復興応援川柳の全国募集
- AKC48子ども配分委員会(赤い羽根子どもアカデミー)
- 住民力・地域力・福祉力を高める支援事業
- 募金期間の延長(被災地の子どもたちに遊具を!)
- 県民力の触発(フォーラムなど)

募金者に寄りそう気持ちで大事だね。



「さんまの柚子こしょう焼き」

さんま 4尾(1尾=100g)
A にんにく(すりおろし) 小さじ1
 (1かけ=10g=大さじ2/3=小さじ2)
 柚子こしょう 大さじ1
 酒 大さじ2

さんまはお好みで内臓を取り、混ぜ合わせたAをまんべんなく塗って5分程置きます。魚焼きグリルか焼き網で香ばしく焼きます。

協力:みやぎ生協 いろんなみやぎ生協を見て下さい。
ホームページ <http://www.miyagi.coop/>
「生協のレシピ」 <http://www.miyagi.coop/recipe/>



Q. 色々な色の7つの羽根がある規則性に基づいて並んでいます。?にはどんな色の羽根が入るでしょうか。

ヒント: 7つあるものと言えば?

A. 赤い羽根

「曜日」表す漢字(日・月・火・水・木・金・土)が含まれた、色の漢字が並んでいます。左から 白 青 灰 水 桃 銀

したがって?の部分には、土を含む 赤 が入ります。



街の気配はすっかり秋。秋と言ったらやはり「読書の秋」ですね。読書はこの上なく自分を成長させてくれるものです。今年の秋は、読書三昧!なんておしゃれです。仙台市内の本屋さんにご協力いただいて、おすすめの本を紹介していただきました。ぜひ、この機会に手に取って読んでみてはいかがでしょうか?

「光の闇」
著 佐伯一麦(扶桑社)



仙台在住の作家、佐伯一麦氏の連作短編集。失うこととは何か、何かを失ったあとに人はどう生きるのか、そして希望とは何か。被災地から静かに、強く語りかける。

協力: あゆみBOOKS・書評担当

「ぼくがおうちでまっていたのに」
作絵 ヤーノシュ 訳 石川素子(徳間書店)



小さなまくんに甘えて、小さなとらくんはお家の当番もせずに、ふらふら。ある日、自分よりも要領の良いコブタと出会い...

協力: ジュンク堂書店仙台ソフト店長・佐藤志保

「仙台城下の町名由来と町割」
著 古田義弘(本の森)



通りで見かける、町名入りの大きな石柱。仙台市が古い町名や由来を残す目的で、市内各所に建立した「辻標」。本を片手に城下町仙台の歴史に触れてみてはいかがでしょうか。

協力: 金港堂